

## 安全データシート (SDS)

作成 平成 19年 8月 10日  
最終改訂 平成 28年 2月 4日

## 1.【化学物質等及び会社情報】

製品  
製品の名称 リバース消臭クリーン  
供給者情報  
会社名 アルタン株式会社  
住所 東京都大田区東糀谷3-11-10  
マーケティング室 開発企画課  
電話番号 03-3743-5705  
FAX番号 03-3743-5706  
緊急連絡先 同上

## 2.【危険有害性の要約】

GHS分類  
物理化学的危険性 分類できない  
健康に対する有害性  
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分2B  
特定標的臓器・全身毒性(単回曝露) 区分1

(注) 物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関し、  
上記以外の項目は、現時点で「分類対象外」、「分類できない」又は「区分外」である。

絵表示又はシンボル



注意喚起語 危険

危険有害性情報

眼刺激  
臓器の障害(胃破裂)

注意書き 【安全対策】

使用前に取扱説明書を読み、安全注意を理解するまで  
使用しない。  
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
取扱い後は手をよく洗うこと。  
保護手袋/保護衣/保護メガネ/保護面を着用すること。

【救急処置】

火災の場合には適切な消火方法をとること。  
吸入した場合 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
飲み込んだ場合 口をすすぎ、コップ1~2杯の水または、牛乳を飲ませる。  
意識が無い場合には、口から何も与えてはならない。  
眼に入った場合 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に  
外せる場合には外して洗うこと。  
皮膚に付着した場合 多量の水と石鹼で洗うこと。  
皮膚(又は毛髪)に付着した場合 水で15分以上注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを  
着用して容易に外せる場合は外すこと。  
その後も洗浄を続けること。

【保管】

容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。  
涼しい場所で保管すること。  
施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

#### 国/地域情報

国内法で規定のある場合、並びに、地域で規定のある場合はその規定に従う。

### 3.【組成・成分情報】

単一製品・混合物の区別 混合物  
成分及び含有量

化学名	含有量(wt%)	CAS No.	化審法番号	PRTR法
無機塩(中和剤)	非公開	非公開	非公開	非該当
吸水性樹脂(特殊高分子吸収剤)	非公開	非公開	非公開	非該当
除菌剤	非公開	非公開	非公開	非該当
植物性精油	非公開	非公開	非公開	非該当

内分泌かく乱作用を有すると疑われる化学物質は使用していない。

### 4.【応急処置】

- 目に入った場合 直ちに流水で15分以上洗い流す。コンタクトレンズは外す。その後、直ちに医師の処置を受ける。
- 皮膚に付着した場合 多量の水及びせっけんで洗い流すこと。  
何らかの異常を感じた時は、直ちに医師の診断を受ける。
- 吸入した場合 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
何らかの異常を感じた時は、直ちに医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合 口をすすぎ、コップ1～2杯の水または、牛乳を飲ませる。  
意識が無い場合には、口から何も与えてはならない。  
いずれの場合も、医師への診察時には、製品または製品安全データシートを持参する。

### 5.【火災時の措置】

- 消火剤 水、粉末などの一般消火剤が使用できる。  
使ってはならない消火剤 情報なし
- 特有の危険有害性 燃焼ガスには、一酸化炭素、窒素酸化物等の有害ガスが含まれるので、消化作業の際には煙の吸入を避ける。
- 特有の消火方法 火元への燃焼基源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。周辺火災の場合はすみやかに安全な場所に移す。移動ができない場合は、風上より容器周辺に散水して冷却する。
- 消火を行なう者の保護 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。  
消火作業の際には、煙を吸入しないように注意する。

### 6.【漏出時の措置】

- 人体に対する注意事項 保護メガネ、ゴム手袋、ゴム長靴、保護衣、保護マスクなどの保護具を着用する。漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 環境に対する注意事項 雨水溝、河川、海上などに排出されないように注意する。
- 除去方法 ほうきなどを用いてできる限り粉塵が飛散しないように空容器などに回収する。製品がこぼれて水濡れした場合、充分拭き取る。濡れた状態だと、糊状となり、滑りやすくなるので注意する。
- 二次災害の防止策 付近の着火源となるものを速やかに取り除くと共に消火剤を用意する。床を濡れた状態で放置すると滑りやすく、スリップ事故の原因となる為注意する。漏出物の上をむやみに歩かない。

### 7.【取り扱い及び保管上の注意】

- 取扱い 技術的対策 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。  
注意事項 粉塵を吸入しないように防塵マスクを着用する。  
眼及び皮膚への接触を避ける。
- 安全取扱い注意事項 適切な排気換気装置を使用する。  
取扱い後はよく洗うこと。  
適切な保護具を着用すること。

	粉塵の発生を避ける。粉塵爆発の危険性も考えられるので大量の取扱には注意する。
保管	適切な保管条件
	容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。 吸湿しやすいので水分や高湿には注意する。 破袋を防ぐため、乱暴な取り扱いをしない。 子供の手の届かないところに保管する。

## 8.【暴露防止及び保護措置】

管理濃度	設定なし
許容濃度	日本産衛学会 ACGIH
	第三種粉塵 吸入性粉塵 2mg/m <sup>3</sup> 、総粉塵 8mg/m <sup>3</sup> 設定なし
設備対策	取扱い場所の近くに洗眼、身体洗浄のための設備を設ける。 粉塵またはヒュームやミストが発生する場合は、適切な排気換気装置を設置する。 静電気対策を実施する。
保護具・呼吸器の保護	状況に応じ着用
目の保護	側板付保護眼鏡
皮膚・身体の保護	静電気防止加工長袖保護衣、ゴム長靴、ゴム保護手袋
適切な衛生対策	取扱後は、手、顔などをよく洗い、うがいする。

## 9.【物理的及び化学的性質】

物理的状態	形状・色；白色～淡黄色粉末
pH	約8（1%aq.）
比重	約1（嵩比重）
粘度	情報なし
引火点	情報なし
臭い	わずかに固有臭
臭いの閾値	情報なし
融点・凝固点	情報なし（熱分解する）
沸点	情報なし
燃焼又は爆発範囲	情報なし
蒸気圧	情報なし
蒸気密度	情報なし
水分配係数	情報なし
自然発火温度	情報なし
分解温度	情報なし
蒸発速度	情報なし
溶媒に対する溶解性	水に溶解する
その他のデータ	情報なし

## 10.【安定性及び反応性】

化学的安定性	通常の取扱い条件（屋内、常温）においては安定である。
危険有害反応可能性	自己反応性なし。水との反応性なし。
避けるべき条件	吸湿しやすいので高湿下での取扱をしないこと。
避けるべき材料	情報なし
危険有害な分解生成物	情報なし
その他	情報なし

## 11.【有害性情報】

急性毒性	経口 経皮 吸入	経口急性毒性値 区分外 情報なし 情報なし
皮膚腐食性/刺激性		情報なし
眼に対する重篤な損傷/刺激性		区分2B
呼吸器または皮膚感作性	呼吸器 皮膚	情報なし 情報なし 情報なし
生殖細胞変異原性		情報なし
発がん性		情報なし
特定標的毒性・全身毒性		区分1（胃破裂）
単回暴露		

特定標的毒性・全身毒性 反復暴露	情報なし
吸引力呼吸器有害性	情報なし
その他	情報なし

## 12.【環境影響情報】

土壌中の移動性	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生態蓄積性	情報なし
生態毒性	情報なし
他の有害影響	情報なし

## 13.【廃棄上の注意】

残余廃棄物	下水道以外の河川等、公共水域への排出は絶対に避ける。 廃棄処理するときは、都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者にて委託処理する。
-------	---

汚染容器・包装 使い終わった容器は内容物をよく除去してから適切に処理する。

内容物/容器の廃棄においては、関連法並びに地方自治体の基準に従うこと。

## 14.【輸送上の注意】

国際法規制	航空輸送はIATA及び海上輸送はIMDGの規則に従う。
国内法規制	陸上輸送: 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。 海上輸送: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。 航空輸送: 航空法に定められている運送方法に従う。

## 輸送の特定の安全対策及び条件

輸送前に容器の破損、腐食、漏れなどが無いことを確認する。  
荷役作業は丁寧に扱い、容器を破損しないように取り扱う。  
転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を行う。  
直射日光下での輸送は避ける。  
水濡れ厳禁。

## 15.【適用法令】

以下の法令について、該当する区分は存在しない  
毒物及び劇物取締法、PRTR法、労働安全衛生法、消防法、危険物船舶運送及び貯蔵規則、  
航空法、海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

## 16.【その他の情報】

記載内容の問い合わせ先	アルタン株式会社
住所	東京都大田区東糀谷3-11-10
担当部門	マーケティング室
電話番号	03-3743-5705
FAX番号	03-3743-5706

## 改訂履歴

作成	平成 19年 8月 10日
最終改訂	平成 28年 2月 4日

## 注意

- ・この情報は新しい知見及び試験等により改正されることがあります。
- ・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。
- ・注意事項は通常の見解を前提としたものですが、特別な取扱いをする場合には、新たな用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。
- ・すべての化学品には未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。
- ・ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。